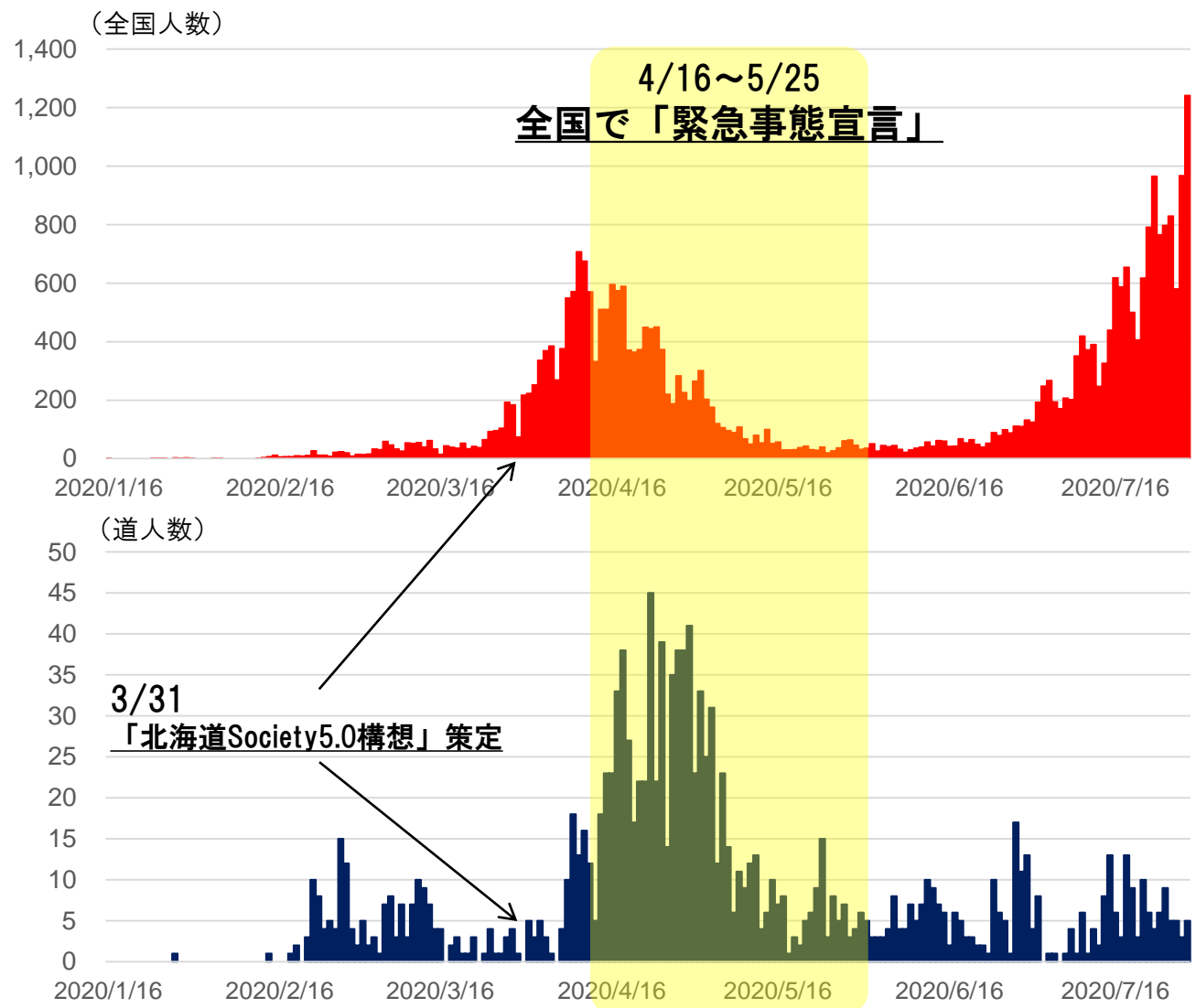


最近の国の動向について

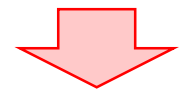


1 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の状況

PCR検査陽性者数（単日）（上図：全国、下図：道）

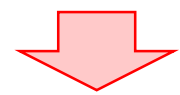


3月末に「北海道Society5.0構想」策定



4月に新型コロナウイルスの感染者が急増

緊急事態宣言
 (道は4/16に特定警戒都道府県に指定)



「北海道Society5.0構想」に掲げた
ICTの活用が一気に進展



ICTの重要性や期待が
 一層高まっている



課題も浮き彫りになった

2 まち・ひと・しごと創生基本方針2020

(内閣官房・内閣府の資料を参考に道で作成)

- 新型コロナウイルス感染症により、地域の経済・生活に影響が生じ、また、デジタル化の遅れなども顕在化している。
- このため、雇用の維持と事業の継続、経済活動の回復を図るとともに、感染症克服と経済活性化の両立の視点を取り入れ、デジタルトランスフォーメーション（DX）を推進しつつ、東京圏への一極集中、人口減少・少子高齢化という大きな課題に対し、取組を強化する。

雇用の維持と事業の継続
～暮らしを支え守る～

経済活動の回復
～地域経済の立て直し～

強靱な経済構造の構築
～危機に強い地域経済～

<感染症への緊急対応>

○地域経済・生活の再興

雇用の維持と事業の継続

交流、賑わいの再活性化

感染症の克服と危機に強い地域経済の構築（地方創生臨時交付金）

<感染症克服と経済活性化の両立>

○新たな日常に対応した地域経済の構築と東京圏への一極集中の是正

- ・ 感染症の克服と危機に強い地域経済の構築（地方創生臨時交付金）
- ・ 地方への移住・定着の推進
 - 地方大学の産学連携強化と体制充実
 - リモートワーク推進等による移住等の推進

○結婚・出産・子育てしやすい環境の整備

- ・ 結婚・出産・子育ての支援

地方におけるSociety5.0の推進

(内閣官房・内閣府の資料を参考に道で作成)

- 地方における、医療、福祉、教育など社会全体の未来技術の実装を推進することを通じて、デジタルトランスフォーメーション（DX）を強力に支援。

5G等の情報通信基盤の早期整備

5G基地局等の整備を都市部と地方部の隔たりなく加速させるとともに、5G利活用促進策も一体的に推進

デジタル人材の育成・確保

市町村への民間デジタル専門人材派遣等を通じ、未来技術を活用した地方創生のための人材基盤を整備

地方創生推進交付金等による支援

地方創生推進交付金にSociety5.0を推進するための支援の枠組みを新設、未来技術を活用する地方公共団体に対するハンズオン支援等

各分野での未来技術の活用・横展開の推進

スマート農林水産業、遠隔医療、遠隔教育、自動運転、MaaS、サテライトオフィス等の未来技術を活用した各取組の促進、横展開推進

地域における
情報通信
基盤等の
環境整備



未来技術の
活用による
地域課題の
解決、地域
の魅力向上



3 世界最先端デジタル国家創造宣言・官民データ活用推進基本計画

(内閣官房 | T 総合戦略室資料から抜粋)

● 令和2年7月17日閣議決定

基本的考え方 **国民が安全で安心して暮らせ、豊かさを実感できる強靱なデジタル社会の実現**

- Society 5.0時代にふさわしいデジタル化
 - ▶ 国民の利便性を飛躍的に向上させ、国・地方・民間の効率化を徹底
 - ▶ データを新たな資源として活用し、全ての国民が不安なくデジタル化の恩恵を享受

デジタル強靱化社会を先導する、社会実装

- 5Gと次世代信号や、自動運転の実現による「先駆的社会インフラ網」の整備
- スマートフードチェーンの構築等による食関連産業の安定的・持続可能な発展
- 民事訴訟手続、刑事手続のデジタル化

- 全国民のQOL向上のための「健康・医療・福祉分野のデータ活用」
- 港湾の生産性革命を実現する「サイバーポート」
- 「運転免許システムの合理化・高度化」による国民負担の軽減等

- コロナ対策で見えてきた萌芽と課題
 - ▶ 「デジタル化・オンライン化」、「WorkとLifeの近接化」、「データの積極活用」、「グローバル経済の再構築」
＜社会の仕組みの変化＞・＜ライフスタイルの変化＞・＜ITの変化＞
- コロナ後のニュー・ノーマルの視点
 - ▶ 「対面・高密度から『開かれた疎』へ」、「一極集中から分散へ」、「迅速に危機対応できるしなやかな社会へ」

国民の生命を守り経済を再生するための、データ利活用

- デジタル社会構築TFを受けた分野間データ連携のルール整備、データ・ガバナンスに関する戦略
- 学習データ、健康・医療関連データの活用
- 情報銀行やトラストサービスのルール整備、データ取引市場の活性化、国際データ流通環境の構築、個人情報保護法制の一元化

＜地方と密接連携を要する取組＞

- 災害対応におけるAIチャットボットやシェアリングエコノミー等の活用

接触機会を減らし利便性を向上させるための、デジタル・ガバメント

- デジタル社会の基盤としてのマイナンバー制度
- 政府ネットワーク環境の整理・再構築に向けた実証を進めるなど、「デジタル・ガバメント実行計画」等に基づく取組の加速化

＜地方と密接連携を要する取組＞

- 全ての市町村において、マイナポータル・びったりサービスを活用
- 業務プロセス・システムの標準化、クラウド化、AIの活用

デジタル強靱化に向けた、社会基盤の整備／規制のリデザイン

5G等 インフラ再構築

- Beyond 5G推進戦略の策定・実行
- 国家公務員のテレワーク環境の大幅な拡充

基盤技術 AI、セキュリティ対策

働き方改革 くらし改革

- 防災×テクノロジー
- 遠隔に対応した書面・押印・対面主義の見直し

スタートアップ 経済活動・企業活動

- 自動運転×MaaS

人材育成・ 学び改革

- GIGAスクール構想（1人1台端末）の加速
- デジタル活用支援員の制度化

デジタル 格差対策

新型コロナウイルス感染症による社会・価値観の変容を受けた策定の視点

Society5.0時代のデジタル化

国民生活の利便の向上

誰もが快適で活気に満ちた質の高い生活を送ることのできる人間中心の社会

効率化の追求

安全・安心の追求

データの資源化と最大活用

人にやさしいデジタル化

コロナ対策で見えてきた萌芽と課題

デジタル化・
オンライン化

データの
積極活用

社会の仕組みの変化

- ・ 「繋がる社会」：リアル・サイバー融合による多様な新産業
- ・ 「新たな競争・共創」を発生させる

WorkとLifeの
近接化

グローバル
経済の再構築

ライフスタイルの変化

- ・ 「広がる生活」：生き方の選択肢の広がり
- ・ 「新たな格差」を発生させる

ITの変化

- ・ デジタルインフラの概念が変わる
- ・ デジタルミニマムを支える新しいシステムが生まれる

<コロナ後のニュー・ノーマルの視点>

対面・高密度から「開かれた疎」へ、一極集中から分散へ

- ・ リモート対応の常態化・高度化
- ・ 対面とリモートの最適な組み合わせ (ハイブリッド化)
- ・ 時間や場所にとらわれない新しい働き方
- ・ 地域の再興、地域からの発信
- ・ 新しいエンタメ

迅速に危機対応できるしなやかな社会へ

- ・ オープンイノベーション
- ・ 迅速な支援措置
- ・ 労働力のリバランシング
- ・ 課題ドリブンのビジネスモデル
- ・ 日常からデジタル化

移行四原則

①テールリスク*を重視する

②世界をリードする

③誰も取り残されない

④漸進主義ではなく、ショックセラピー型で抜本的に移行する

*頻繁には起こらないが、起こった場合に大きな被害が出るリスク(パンデミック、大災害等)

基本的な枠組み

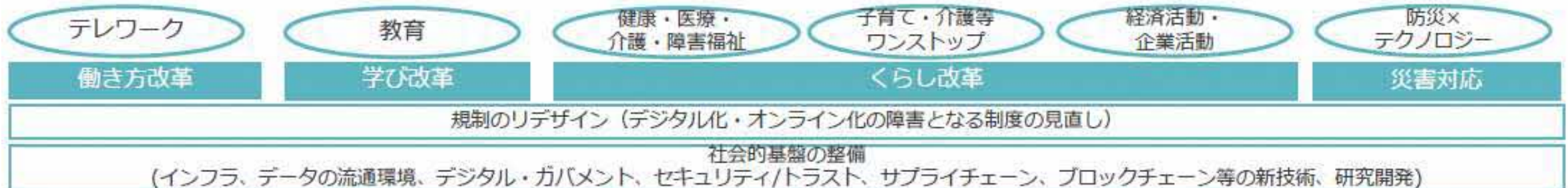
- ▶ **新型コロナウイルスの感染拡大を阻止**するための喫緊の方策として、治療薬やワクチンの開発・普及、雇用・家計・事業を守るための取組とともに、**接触機会の削減等のため、ITやデータを総動員した取組が必要。**
- ▶ また、戦後最大の危機とも言われる今般の感染拡大は、**社会的距離を確保しながら、仕事、学び、くらしを継続可能としないといけないなど、社会の在り方に根源的な変革を迫っている。**
- ▶ 感染拡大抑制の後には、我が国経済を再起動するため、**ピンチをチャンスに変え、デジタル化を社会変革の原動力とするデジタル強靱化を強力に推進する。**

新型コロナウイルス感染拡大の阻止（直近の取組）

- 官民のテックチームによる、ITやデータを活用した感染拡大阻止（→陽性者と接触した可能性について通知するアプリケーションの開発・普及、病院の医療提供体制の見える化・国民への情報提供、その他民間テック企業の技術・アイデアの実装）
- 諸外国のデータ活用の動向を踏まえ、個人情報保護に十分配慮した取組の促進（DFFTの観点）

デジタル強靱化による社会構造の変革 ～社会全体の行動変容～

- オンライン化・リモート化による働き方改革・学び改革・くらし改革（行動変容）により、長期間又は断続的な接触機会の減少の中にあっても、社会が機能し、経済が成長可能となるようにするとともに、テクノロジーを駆使した災害対応を進め、デジタルによる強靱化を図る。
- 改革の前提となるインフラ、データの流通環境、デジタル・ガバメントといった社会基盤の整備とともに、デジタル社会に最適化した規制のリデザインを実施。また、地域の中小事業者や高齢者、障害者など誰一人取り残すことのないデジタル・インクルーシブ社会を実現
- マイナポイントによる消費活性化策や健康保険証としての利用環境整備などを踏まえ、令和4年度までにほとんどの住民がマイナンバーカードを保有していることを想定し、様々な手続をデジタルで行うための基盤と位置付けるなど、危機に順応できる弾力的なデジタル社会構築に向けた基本的考え方を整理



喫緊に取り組むべき事項

○ 遠隔・分散に対応した制度・慣行の見直し

- 遠隔・分散型の社会経済活動の障壁となる制度・慣行の見直し
 - ・ 書面・押印・対面に関する官民の制度・慣行の見直し
 - ・ 「隗より始めよ」の考えのもと、行政機関等の会計手続、人事手続その他の内部手続について、書面・押印・対面の見直し

○ しなやかなデジタル社会の基盤としてのマイナンバー制度

- 強靱な社会経済構造の一環として、マイナンバーカード・マイナンバーを基盤としたデジタル社会の構築を進める：(検討事項例)
 - ・ 在留カードとマイナンバーカードの一体化、運転免許証の発行手続やシステム連携の在り方、各種免許・国家資格等におけるマイナンバー制度の利活用
 - ・ 公金振込口座の設定を含め預貯金口座とマイナンバーの紐づけの在り方

○ 国と地方を通じたデジタル基盤の構築

- 情報システムの標準化・共通化、クラウド活用の促進等を進める
 - ・ 給付金等におけるデジタル手続・事務処理・早期給付の実現
 - ・ 各府省情報システムのネットワーク統合・再構築
 - ・ 民間との相互連携の強化（API利用の促進）

○ 防災×テクノロジー

- 感染症の感染拡大と災害が併発する事態に備え、テクノロジーを駆使した災害対応のための取組を進める
 - ・ 防災チャットボットを通じた分散避難下の現地情報の収集
 - ・ ハザードマップの基礎となるGISデータのオープンデータ化

○ データの基盤整備と積極活用

- データ資源を横断的、継続的な活用できる環境を整備

ニュー・ノーマルに向けたデジタル戦略

- ・ 以下から構成される戦略を取りまとめる：
 - 社会の基本データを始めとするデータの質・量の向上
 - データ利活用の一般原則としてのデータガバナンスルールの在り方を含むデータ戦略
 - 行政のデジタルトランスフォーメーションのためのデータ基盤
 - 研究開発・インフラの整備 等

学習データ等の活用

- ・ 学校内外における児童生徒の学習ログや、健康状態等について、転校や進学等にもかかわらず継続的にデータ連携や分析を可能とするための標準化や利活用を進める

健康・医療関連データの活用

- ・ 生涯にわたる健診・検診情報について、マイナポータル等を活用して電子化・標準化された形での提供を進める
- ・ 今般の新型コロナウイルス対策のサーベイランス情報（※）と、医療機関情報の連携のあり方を検討
 - ※今般、システム(HER-SYS)を構築し、全国一元的に感染者等情報を把握・管理

○ 縦割りを打破するトータルデザイン

- 政府CIOの一層のリーダーシップによる全体最適の追求、利用者視点の徹底
 - ・ 国・地方を通じた情報システムの標準化・共通化、クラウド活用の促進等
 - ・ 各行政機関の保有するデータの分析・活用に必要な仕組みなど、データ活用に係る分野横断的な設計
- 政府DX推進委員会（仮称）の機動的な活用、IT基本法の全面的な見直し

4 経済財政運営と改革の基本方針2020（骨太の方針）⁸

（内閣府資料を元に道で作成）

新型コロナウイルス感染症の拡大を受けた現下の経済財政状況

- ✓ 国内経済は、感染症拡大の甚大な影響を受け、極めて厳しい状況
休業者の大幅な増加などの雇用情勢、新興国を含めた海外経済全体の減速、
製造業のみならずサービス業にも広く影響
- ✓ 抱える課題やこれまでの取組の遅れが改めて浮き彫りに
 - デジタル化・オンライン化の遅れ（特に行政分野）
 - 都市過密・一極集中のリスク
 - 新しい技術を活用できる人材の不足
 - 非正規雇用者やフリーランス、中小・小規模事業者の苦境
 - グローバル・サプライチェーンの脆弱さ 等

これまでの構造的問題

- 少子化・高齢化の進行
- 生産性の低さ
- 東京一極集中
- 第四次産業革命の到来
- エネルギー・環境制約の高まり
- 大規模自然災害の頻発
- 社会保障と財政の持続可能性

ポストコロナ時代の新しい未来

★ 新たな経済社会の姿の基本的方向性

「新たな日常」を通じた 「質」の高い経済社会の実現

- 個人が輝き、誰もがどこでも豊かさを実感できる社会
（柔軟性・多様性、変化や失敗の許容、ワークライフバランスの実現）
- 誰ひとり取り残されることなく生きがいを感じる
ことのできる包摂的な社会
（セーフティネット、人とのつながり、不安に寄り添う）
- 国際社会から信用と尊敬を集め、不可欠とされる国
（自由貿易の維持・発展、新たな国際秩序・ルールづくり、
国際協調・連帯）

国民の生命・生活・雇用・事業を守り抜く

★ 感染症拡大への対応と経済活動の段階的引上げ -「ウィズコロナ」の経済戦略

- 医療提供体制等の強化
（検査能力拡充、ワクチン開発加速・確保等）
- 雇用維持と生活下支え
（雇用調整助成金、新卒者への配慮、マッチング支援等）
- 事業継続と金融システムの安定維持
（資金繰り支援、日本銀行との連携等）
- 消費など国内需要の喚起
（GOTOキャンペーン、マイナポイント、新しい財やサービスの創出
につながる民間投資やイノベーションの促進）

★ 防災・減災、国土強靭化 -激甚化・頻発化する災害への対応

- ・ 東日本大震災からの復興・再生
- ・ 近年の自然災害からの復興

「新たな日常」の実現 10年かかる変革を一気に進める

1 「新たな日常」構築の原動力となるデジタル化への集中投資・実装とその環境整備

- ◆ 次世代型行政サービスの強力な推進
- ◆ デジタルトランスフォーメーションの推進
- ◆ 新しい働き方・暮らし方
- ◆ 変化を加速するための制度・慣行の見直し

2 「新たな日常」が実現される地方創生

- ◆ 東京一極集中型から多核連携型の国づくりへ（スマートシティ等）
- ◆ 地域の躍動に繋がる産業・社会の活性化（観光、農林水産業、中小企業など）

3 「人」・イノベーションへの投資の強化-「新たな日常」 を支える生産性向上

- ◆ 課題設定・解決力や創造力のある人材の育成（教育改革・リカレント教育）
- ◆ 科学技術・イノベーションの加速

4 「新たな日常」を支える包摂的な社会の実現

- ◆ 「新たな日常」に向けた社会保障の構築
- ◆ 社会的連帯や支え合いの醸成
- ◆ 所得向上策の推進、格差拡大の防止

5 新たな世界秩序の下での活力ある日本経済の実現

- ◆ 自由で公正なルールに基づく国際経済体制
- ◆ サプライチェーンの多元化等を通じた
強靭な経済・社会構造の構築
- ◆ 国際協調・連帯の強化を通じた新たな国際協力
- ◆ SDGsを中心とした環境・地球規模課題
への貢献

5 まとめ ～ 主なキーワード

★（星）印がついたキーワードは、新型コロナの影響で一層ニーズが高まっている。

計画全般にわたるキーワード

★社会全体のDXの推進

暮らしに関するキーワード

- ★時間や場所にとらわれない新しい働き方
- ★遠隔・オンライン教育の早期実現
- 予防健康づくりを始めとしたデータヘルス改革
- ★オンライン・電話による診療・服薬指導・健康相談

産業に関するキーワード

- オープンイノベーション
- シェアリングエコノミー

行政に関するキーワード

- ★書面・押印・対面に関する制度・慣行の見直し
- AIチャットボット
- ★利用者目線に立った行政手続のオンライン化・ワンストップ化

データの利活用に関するキーワード

★データの利活用の推進

API利用の促進

基盤整備に関するキーワード

5G基盤の活用

★デジタル人材の育成・確保